

平成30年度地域づくり懇談会 主な意見

開催日:7月11日(水)

会場:神杉コミュニティセンター

参加者数:36人

| 参加者の発言 | 市の発言 | 備考 |
|---|--|----|
| <p>・豪雨災害直後、忙しい中開催していただき嬉しく思う。また、平成29年度は、放課後児童クラブなど神杉の拠点づくりなどしていただき、お礼を申し上げる。</p> <p>・先日、自主防災会議を開いた。次の災害対策のため、神杉の地域づくりに向けて進めている。今後も行政の支援をいただきたい。</p> | | |
| <p>特に教育については、整備をしていただいた。県内他の市町と比べてみても手厚く、感謝している。ネウボラの役割として、家庭訪問が大事ではないかと考える。家庭に入るからこそ課題が見える。特に3歳までの子どもに対して必要だと思う。言葉の虐待を受けた子どもは、発達障害などになりやすい。成育が心配な家庭が増えていると思う。そういった問題が家庭訪問でわかるのではないかと。</p> | <p>三次市は全戸訪問を行っており、これは他に例のないことである。情報をお知らせするだけでなく、積極的に取りに行きたい。妊婦の方々の不安を少しでも解消したい、ということで全戸訪問をしている。市役所も、来ていただきやすい組織にしたいが、敷居が高いイメージもある。ネウボラのサテライトとして、市内2箇所、CCプラザと酒屋保育所に巡回して派遣しているので、来てもらいやすいのではないかと考える。ぜひ利用していただきたい。</p> | |
| <p>子どもたちにとって学習も大切だが、食事が大事と考える。給食センター統合の話聞いたが、給食の質が上がるとは考えにくい。給食がおいしくないから食べたくない、ということになると思う。デリバリー給食もおいしくないと聞く。お弁当を作るのは家庭の負担も多い。食に対して市はどう考えているか聞きたい。</p> | <p>学校給食を小学校にも中学校にも提供していきたい。学校給食の役割は、一緒に食べることでマナーを身に付け、コミュニケーション、食育、偏りのない食事等を教育していくことであると考え。家庭でも食育をしていただいているが、学校でも、栄養士も含め進めている。給食センターができ、多くの職員で提供することで、細やかに対応したい。食材に対しても手をかけることができる。子ども達が食べたいと思うよう、工夫もできると思う。よりよい給食にするため、皆様と一緒に考えたい。神杉では弁当の日も設けていただいている。家庭で弁当の作り方を学ぶことで、手作りの伝統を受け継いでいただきたい。</p> | |
| <p>2045年には、三次市の人口が3万7~8千人になる。地域を統合して、ひとつの中学校にするなどすべきであると思う。一貫校も良いが、統合して充実をはかるべきであると思う。</p> | <p>人口減少対策は、行政だけではできない。神杉地区のみなさんも、「帰ろうコール」等で次世代へつなげてほしい。若い皆さんにふるさと三次を選んでもらうためには、1番は教育だと思う。教育と子育て、福祉施策の充実、中でも少子化対策、子育てに重点を置く。また、就労の場を設けることも必要であると考え。行政だけでなく、地域の皆さんと一緒に頑張っていきたい。三次に住んでよかったと思ってもらえるよう、充実させていくことによって選ばれるまちにし、地域間競争を乗り切る。今年20歳になる皆さんと、未来「夢」懇話会を行った。参加者のほとんどが、三次へ住みたい、三次は住みやすいと言っていた。時代は変わってきた。人口社会増については、風向きが変わってきていると感じる。神杉地区も人口は転入増になっており、若い世代が増えていく。保育所の園児も65人程度いる。地域の皆さんが将来へつなげていけるよう、小中だけでなく、中高一貫教育校も開校する。安心して子育てできるようにしたい。</p> | |
| <p>人口問題について自分なりの考えを述べたい。どの地域にとっても大きな問題であり、共通の問題である。人口が減れば、産業も発展せず悪循環になる。市は、教育、企業誘致、子育てなど様々な面から努力されている。3世代、2世代の世帯も少ないがあり、一緒に生活している世帯もある。親子と一緒に暮らしている状態が一番活気があり、幸せだと思う。地域も守れ、活気も生まれる。住民の皆さんの考えとして、ふるさとを離れることが幸せなのか、残ることが幸せなのかを考える必要があると思う。2世代と一緒に暮らせるような暮らしを取り戻したい。</p> | | |
| <p>学校統廃合についてであるが、塩町中学校は1学年2クラスであり、ちょうど良いと思っている。このくらいの学校区で教育していくのが良いと思う。これからもこの規模で維持できたらと考えている。</p> | | |

平成30年度地域づくり懇談会 主な意見

開催日: 7月11日(水)

会場: 神杉コミュニティセンター

参加者数: 36人

| 参加者の発言 | 市の発言 | 備考 |
|---|---|----|
| <p>中高一貫教育校について、中国新聞がアンケートをとっていた。市内から一貫校に通いたい人は、95%程度と新聞記事に書いてあった。市内よりも、市外の人に中高一貫教育校に来てもらうほうが良いのではないかと。</p> | <p>市内からも市外からも挑戦のため、入学してくれると思う。地元にいながら挑戦できる環境ができたと考えている。本市においては、地域に愛着をもっていく教育を進めており、わくわく体験活動や校区内への民泊等、取り組んでいただいている。また、小学校1年生から外国語教育を行っている。小学校へも英検5級受験に枠を広げ、25人が挑戦した。小学校でも準2級を受験する子どももいる。今まで積み上げてきたものが、子どもたちの挑戦につながっている。家庭の教育力とあわせて、地域の教育力も欠かせない。延べ100人を超える市費の教員、学校支援員や障害児介助指導員など、ALTも合わせて2億円を超える費用をかけて、きめ細かく対応している。神杉でも取り組んでおられる花田植えなど、地域を好きになるような取組を今後も続けていきたい。</p> | |
| <p>明確なビジョンで取組をされていると思う。以前、神杉地域の拠点づくりについてお願いし、「神杉をモデル地域にしたい」と伝えると一緒にやろうと言ってもらえた。保育所もできた。0歳からも入れる。親は、人とのつながりや友達関係を優先して保育所入所を考える。今までは、地元の子どもが他の地域の保育所、学校へ行くことも多かった。放課後児童クラブも作ってもらった。神杉小学校の敷地内なので送り迎えも楽である。今後は、拠点づくりのモデル地域としてほしい。老人集会所で、畑をつくりながら子どもと関われるような、そういう場ができれば良いと思う。また、自治会館がこの地にほしい。地域と人とのつながりができるような場になればと思う。そのことが、神杉へ住もう、帰ろうにつながると思う。地域も頑張っていく。</p> | | |
| <p>7月豪雨で、塩町中学校の校舎が浸水した。山側からの水が入ってきた。その水が塩町の町中へ出てきていて、地元からも学校へ苦情が来た。</p> | <p>塩町中学校の法面崩落について現場を確認した。しっかり対応したい。お力添えをいただきたい。</p> | |
| <p>地域力向上するためには、次世代の青年の力が必要だが、青年がいない。日中は勤務先で過ごしており、地域での活動に参加できない。地域でも活動できるように援助してもらえれば、活動しやすくなる。</p> | <p>若い人が頑張っていこうということを支援していきたい。どういった形で支援できるか、地域振興部へも提起してほしい。</p> | |
| <p>他の市の人から、「三次は良いところ」と言われる。定住や移住を促すため、3世代同居などの世帯には住民税を軽くするなどしてはどうか。</p> | <p>・住民税については、貴重な自治財源であり、平成30年度予算でも、法人・個人併せて20数億円を計上している。これは、市税収入の約4割を占める。しっかり納めていただくことで、今後も市の施策を実施することができる。</p> <p>・3世代同居への支援策については、税金とは別に、どういったかたちでできるかである。ひとつのアイデアだと思う。</p> | |

平成30年度地域づくり懇談会 主な意見

開催日:7月11日(水)

会場:神杉コミュニティセンター

参加者数:36人

| 参加者の発言 | 市の発言 | 備考 |
|--|--|---|
| <p>Iターンして、甲奴から母の実家である神杉へ定住し、神杉の青年の活動を始めた。仕事上採用関係にも携わっているが、今の若者は、賃金ではなく人間関係が職場の定着につながると感じる。都会の方は、仕事だけで生きていけるという人が多く、人間関係はあまり意識されないが、田舎は、人とのつながりという交流の場がないと、なかなか定住につながらないと思う。そこで、各地域の青年の活動を、定住促進のPRにつなげて連動させてはどうか。市のPRなどに活動を掲載することで、豊かな人間性を見てもらうことができ、定住の促進につながると思う。子育てをする我々の年齢層がしっかりしていれば、子育てや産業も活性化していくと考える。</p> | <p>力強いご意見をいただいた。いろんな地域で若い世代が頑張っておられるが、共有できていない。8月に各地域で活動されている方に集まっていただき、地域自慢大会を開催する。それには高校生も参加する。いろいろな意見を聞きながら、活動している人の意見を聞いて、活動の輪を広げてもらうことを目的に開催する。こういった取組も含めて、具体的にどのような支援が必要か、今後もご意見を聞かせてほしい。</p> | |
| <p>市立三次中央病院に神経内科がない。パーキンソン病、筋萎縮症を患っている。ビハーラ花の里病院の先生が専門で診ておられるが、市立三次中央病院にも専門科を設けてもらいたい。</p> | <p>医師の確保が全国的にも厳しい状況の中、市立三次中央病院は、広島大学と連携し医師の派遣を受けている。様々な診療科に係る要望はしており、引き続き広島大学と連携していく。</p> | |
| <p>子どもが生まれたばかりであるが、子育て関係のチラシは、電話番号しか書いてないと感じる。若い世代は、スマートフォンやSNSを利用しているので、窓口を広げるためにQRコードなど表記して、相談しやすくしてほしい。</p> | <p>チラシへの表記方法は検討したい。8月から電子母子手帳を導入する。使いやすく、アクセスしやすいものにした。</p> | |
| <p>住宅が浸水した場合、補助があるのか。避難できるアパートや仮設住宅はあるのか。</p> | <p>公営住宅は、災害で被災された場合、優先して貸す制度がある。今回は、一時的な避難でも家賃を無償として対応することとした。</p> | |
| <p>給食センターをつくるにあたり、市民や子どもたちに意見を聞いてほしい。</p> | <p>デリバリー給食、吉舎町と三良坂町の調理場の統合等、色々のご意見をいただきながら進めてきた。これからも、保護者の皆さんなど、色々な方に説明を行い、ご意見を伺っていく。</p> | |
| <p>辻塚に住んでおり、鹿、イノシシの被害がある。駆除に市から派遣してほしい。</p> | <p>イノシシの捕獲状況については、市全域で平成28年度は約1300頭、平成29年度は約1,000頭を捕獲している。毎年この程度である。鹿は、450~550頭である。駆除については、市で駆除班を編成しており、約140人で、5年前と比較して20人程度増員した。柵、ネット防除等については、市の補助がある。鹿については、猟の期間は新たに補助を設けている。また、鳥獣被害防止対策としては、集落で取り組むことが効果的である。モデル集落事業をスタートさせており、19か所の各住民自治組織エリアにモデル集落を作っていく。毎年、2地区ずつモデル集落を設置し、地域ぐるみで防除したい。</p> | <p>【回答補足】 (捕獲状況) 平成28年度 ・イノシシ 1338頭 ・シカ 449頭 平成29年度 ・イノシシ 976頭 ・シカ 559頭 (農政課)</p> |